讀賣新聞
ワークシート通信

2023年 2月 8日

★★

「読書犬」活動広がる

年　組（　）名前

サイン

読売新聞 教育ネットワーク
YOMIURI EDUCATION NETWORK

「読書犬」活動広がる

欧米を参考 子どもが安心

セラピー犬「読書犬」に子どもが読み聞かせをする活動が、少しずつ広がっている。欧米を参考にした取り組みで、犬は静かに寄り添ってくれるため、子どもたちが安心して本を読むことができる。

千葉県流山市立おおたかの森こども図書館が入る複合施設の一室で昨年12月、市内に住む小学2年の阿波谷美月さん(7)が、隣に座るシバ犬(オス、7歳)に絵本「みつばちマーヤ」を読み聞かせた。犬は、「お座り」や「伏せ」の姿勢で黙って聞いている。阿波谷さんは「静かに聞いてくれてうれしかった。触ったら、ふわふわで気持ち良かった」と話した。

読書犬に読み聞かせをする子ども（千葉県流山市で）

※先生やおうちの人といっしょに読みましょう。

◆犬といっしょに行う活動が少しずつ広がっているそうです。（2023年1月14日　読売新聞朝刊より）

【1】写真に映っている子どもは何をしているのでしょうか。

【2】あなたならば、どのような本を犬に読み聞かせたいですか。その理由も書きましょう。

©The Yomiuri Shimbun

31文字 時代超える和の心

◆百人一首と言えば、「小倉百人一首」が有名ですが、時代に合わせていくつもの百人一首が編まれてきました。

13世紀成立の「小倉」不動の地位

小倉百人一首の成立は13世紀に遡る。親戚の依頼で小倉山荘（京都）のふすまを飾る障子歌を書くことになった定家が、歴代天皇や公家など100人の作品から1首ずつ選んだ秀歌撰が基になった。

江戸時代、木版刷りの安いかるたが出回って庶民に浸透。高級品は上流階級の嫁入り道具にもなった。現代でも競技かるたで使われるなど、不動の地位を築いている。

同志社女子大の吉海直人特任教授（国文学）は「江戸時代は寺子屋で言葉を学ぶ教科書の役割も果たした。100という数字の魔力、31文字という文学としての規模の小ささゆえに、時代を超えて親しまれている」と語る。

「異種」ジャンル 戦争プロパガンダも

知名度の高い小倉百人一首に倣って、100人から1首ずつ新たに選んだのが「異種百人一首」と呼ばれるジャンルだ。

その歴史は古く、室町幕府9代将軍・足利義尚は15世紀に「新百人一首」を編纂。99人が小倉百人一首に漏れた歌人で、本家への対抗意識が透けて見える。江戸幕府が天皇や公家を統制する「禁中並公家諸法度」を発布した17世紀には、源義家や平忠盛など武人の歌を集めた「武家百人一首」が編まれた。

戦時下でプロパガンダに使われた暗い過去もある。1942年11月に制定された「愛国百人一首」。付録の概説には「国体観念の明徴と、日本精神の昂揚とを、全面的に齎す」と狙いが明記された。選者は斎藤茂吉や北原白秋、折口信夫ら12人。内閣直属の情報局が認定し、軍部が後援した。

恋歌が半数ほどを占める小倉百人一首とは雰囲気はまるで違う。天皇の威光を米国に見せつけると詠んだ＜かきくらすあめりか人に天つ日のかがやく邦のてぶり見せばや＞（藤田東湖）などを収録。戦中の紙不足にもかかわらず100万部超が出版され、かるたは植民地だった朝鮮などでも流通した。

（2023年1月14日　読売新聞朝刊より）

【1】時代ごとに編まれた百人一首の特徴を調べ、まとめましょう。

時期	百人一首名	特徴
13世紀	小倉百人一首	
15世紀	新百人一首	
17世紀	武家百人一首	
20世紀	愛国百人一首	

【2】あなたの好きな和歌を選び、あなた独自の和歌集を作りましょう。

©The Yomiuri Shimbun

年　組（　）名前

サイン

成虫を自動追尾 止まった瞬間、急所に

◆大阪大の研究チームがレーザーを活用した農作物の害虫駆除技術を開発しました。食い荒らすのは幼虫ですが、成虫を狙い撃ちします。

（2023年1月23日 読売新聞夕刊より）

レーザーでガ狙撃

幼虫の頃に農作物を食い荒らすガの一種「ハスモンヨトウ」をレーザービームで狙い撃ちする駆除技術を開発したと、大阪大の研究チームが発表した。成虫を退治して繁殖を抑えるのが狙いで、2025年頃の実用化を目指すという。

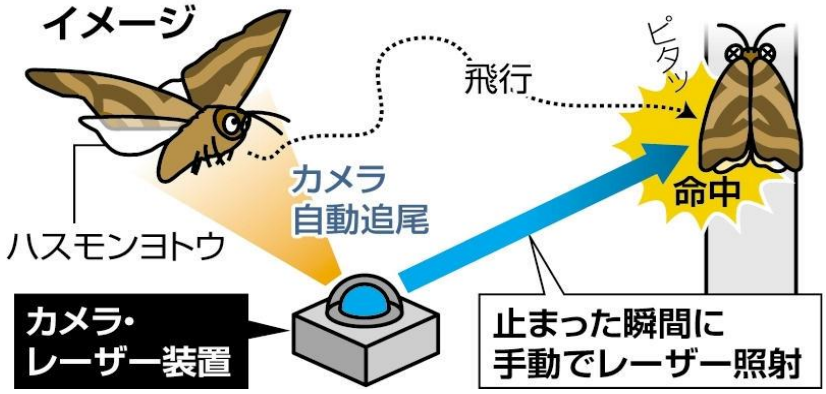
ハスモンヨトウの幼虫は、夏から秋にかけて大量発生し、大豆やキャベツなどに甚大な被害を出す。植物防疫法で有害動植物に指定されているため、都道府県が発生を予測。農家に注意報や警報を出して農薬散布を呼びかけるが、薬剤への抵抗力が強く、一部の農薬は効きにくくなっている。

チームは新たな駆除技術として、超小型、低コストで駆動できる「青色半導体レーザー光」に着目した。体長15～20ミリの成虫が毎秒2回で飛行する様子をカメラで自動検出して追尾。羽を休めた瞬間に0・1～0・01秒間レーザーを照射し、駆除することに成功した。精度は低いが飛行中に撃ち落とすこともできたという。さらに胸の辺りが急所となり、細いビームで仕留められることも確認した。

今後は人工知能（AI）で飛行経路を予測してビームを自動照射する改良を加え、急所への命中精度も高める。阪大の山本和久教授（レーザー工学）は「いずれはアフリカで問題になっている『サバクトビバッタ』など他の害虫の駆除も視野に入れたい」と話す。

中野人志・近畿大教授（レーザー工学）の話「青色半導体レーザー光は照射対象に影響を与えやすく、材料加工など様々な分野で応用されている。今後、追尾や照射の技術がさらに充実することを期待したい」

レーザービームでハスモンヨトウを駆除するイメージ



阪大チーム 駆除技術を開発

※答えは、裏に書きましょう。

【1】開発された技術でどのように駆除するのかをまとめ、なぜそれで農作物被害を減らせるのか説明しましょう。

【2】農薬散布ではない害虫駆除技術が開発された理由を考えましょう。

【発展問題】害虫駆除には現在、どのような方法がとられているのか調べましょう。

©The Yomiuri Shimbun

年　組（　）名前

サイン

◆2022年の世界の平均気温は史上6番目に高かったと、米海洋大気局が発表しました。世界的に気象災害が頻発（ひんぱつ）するなか、地球温暖化（おんだん）を食い止めるために何ができるでしょうか。

（2023年1月13日 読売新聞夕刊より）

【1】直近9年間の世界の平均気温は、20世紀の平均気温と比較して何度高いか、調べましょう。

【2】22年の日本の平均気温と、20世紀の平均気温の差を調べて書きましょう。

【3】記事で書かれている以外に、世界や日本でどのような気象災害が発生していますか。

昨年の気温 史上6番目

米海洋大気局調査 平均14.76度

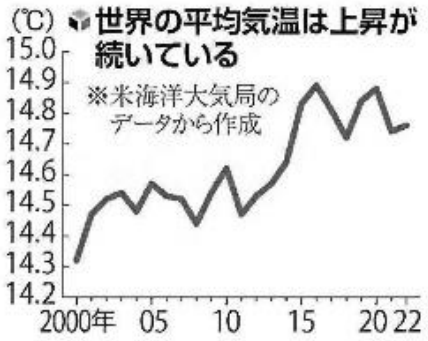
【ワシントン＝冨山優介】米海洋大気局（NOAA）は12日、2022年の世界の平均気温が14・76度となり、信頼できる観測記録の残る1880年以降で6番目に高かったと発表した。暑い年の上位9位は直近の9年間が占め、地球温暖化が進んでいるとみられる。

NOAAは米航空宇宙局（NASA）などと協力し、陸域の観測施設や、海域での船舶などによる気温の観測結果を分析した。

22年は、20世紀の平均気温（13・9度）を0・86度上回る14・76度だった。産業革命前のデータとして代用できると考えられている1880～1900年と比べて、1・06度上昇していた。これまでで最も高かったのは、2016年の14・89度だった。

22年はパキスタンで国土の3分の1が冠水したとされる大洪水が起きるなど、世界的に気象災害が頻発した。NOAAのサラ・カプニック主任研究員は記者会見で「昨年起きたような気象災害は、今年も多く発生する」と警告した。

研究チームは、産業革命前からの気温上昇を「1・5度以下」に抑える国際的な努力目標の達成が不可欠だと強調した。



【発展問題】地球温暖化を食い止めるため、今すぐに取り組まなければいけないことをまとめ、裏（うら）に意見文を書きましょう。

©The Yomiuri Shimbun

読売新聞社は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

讀賣新聞
ワークシート通信

2023年 2月 8日

★★★

＜たのしい英語＞ so long

年　組（　）名前

サイン

読売新聞 教育ネットワーク
YOMIURI EDUCATION NETWORK

猫ピッチャー そにしけんじ
NEKO Pitcher 94
Kenji Sonishi

◆ミー太郎（たろう）のしっぽの動（うご）きから投球（とうきゅう）が読（よ）めると思（おも）った打者（だしゃ）でしたが、あえなく三振（さんしん）。ミー太郎（たろう）は、何（なん）とかピンチをしのぎました。

so long（ソー ロング）

さようなら。では、また

別（わか）れる際（さい）のあいさつとして使（つか）います。ここでは「to（トゥ）～」で「～に別（わか）れを告（つ）げる（を終（お）わりにする）」という意味（いみ）になります。

★あわせて覚えよう★

- say goodbye（セイ グッドバイ） to（トゥ） ～
  ～に別（わか）れを告（つ）げる
- long time（ロング タイム） no（ノー） see（シー）
  ひさしぶり

単語帳

crisis：危機

★なぞってみよう★

so long

long time no see

©The Yomiuri Shimbun

アピール：私たちは学校図書館を応援しています

学校図書館法公布 70 周年記念事業運営委員会
学校図書館整備推進会議
全国学校図書館協議会
文字・活字文化推進機構

学校図書館法公布 70 周年の 2023 年を迎え、私たちは、学校図書館が学校教育に欠かせない基礎的な設備として、教育課程に寄り添い、子どもたちの人間的な成長を支えていることをあらためて確認したいと思う。

子どもたちはいま、1 人 1 台のタブレット端末を持ち、瞬時に多様な情報を収集できる社会に生きている。そのようなネット時代に求められる新しい力は情報活用能力であり、その土台となるのが読書力である。

学校図書館は、子どもが読書を楽しみ、主体的な「学びの方法」を身につけるための最良の場所であり、生きる力を育む知の空間である。「読書」「学習」「探究」という多機能を持つ学校図書館が、その使命を果たすには、いつでもそこにいて、図書資料と子どもをつなぎ、各教科等の授業を支援する学校司書の充分な配置が必須の条件となる。

2019 年には読書バリアフリー法が制定され、学校図書館は、また一つ新たに意義深い課題を抱えることになった。この法律の具現化にあたっては、活字文化の振興や読書活動推進にかかわる既存の関連法や諸活動を、読書バリアフリー法の理念に照らして整備・振興していく必要がある。

社会全体の急激なデジタル化の中で、学校図書館は読書力や言語力、課題解決能力を育てる観点から子どもの成長段階に応じた図書資料、新聞資料、デジタル資料、バリアフリー資料を整備しなければならない。

私たちは学校図書館法公布 70 年を新たな契機に、これからの学校図書館が生涯にわたって、自ら学び続ける市民の育成に寄与することを期待し、心から応援するものである。

2023年1月12日
アピール賛同者一同

アピール賛同者一覧

浅田次郎	作家
あさのあつこ	作家
阿刀田高	作家
猪木武徳	大阪大学名誉教授
今村翔吾	作家
内館牧子	作家
内田伸子	お茶の水女子大学名誉教授
宇野和博	筑波大学附属視覚特別支援学校教諭
長田渚左	ノンフィクション作家
小野寺優	日本書籍出版協会理事長
片山善博	大正大学教授
川島隆太	東北大学教授
河村建夫	文字・活字文化推進機構会長
隈 研吾	建築家
酒井邦嘉	東京大学大学院教授
佐藤 学	東京大学名誉教授
鈴木みゆき	國學院大學教授
鈴木善久	伊藤忠記念財団理事長
銭谷眞美	新国立劇場運営財団理事長
俵万智	歌人
寺﨑昌男	東京大学名誉教授
中江有里	女優、作家
野口武悟	専修大学教授
坂東眞理子	昭和女子大学総長・理事長
肥田美代子	童話作家
堀川照代	放送大学客員教授
丸山昌宏	日本新聞協会会長
宮西達也	絵本作家
村山由佳	作家
柳田邦男	ノンフィクション作家

敬称略・50 音順・2023 年 1 月 12 日

連絡先：学校図書館整備推進会議（日本児童図書出版協会内）
電話 03-6273-7484、WEB サイト http://www.gakuto-seibi.jp/